

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－07

| | |
|---|----------------------------------|
| 学校名・団体名 | 八幡平市立寺田小学校 |
| HPアドレス | なし |
| コース | 学校支援 |
| 活動・研究 テーマ | 調べ・作り・発信する郷土学習 －電子紙芝居等の製作と活用－ |
| <p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>(1) 製作した電子紙芝居等を当市と交流のある被災地の図書館に寄贈し、復興の一助にさせていただく。</p> <p>(2) 地域に伝承されている昔話を電子紙芝居等にする活動を通して、郷土理解を深め、郷土愛を培う。</p> <p>(3) 電子紙芝居等を活用することにより、英語・方言に対する関心を高めるとともに、聞くこと・話すことスキルを高める。</p> | |

1 製作品

- (1) 英語電子紙芝居 “The Legends of Mt.Nanashigure” 英語ナレーション入り
(2) 絵本 「七時雨山伝説」 方言・英文入り



「ごんげんさま」

「獅子ときこり」

「おおかみのまゆげ」

2 活動内容

- (1) 昔話の調査と収集 5月~6月 5, 6年児童
(2) 昔話の物語化 7月~10月 5, 6年児童・ALT
(3) 電子紙芝居の業者委託 12月
(4) 完成 H28年1月

3 活用の場

- (1) 東日本大震災の被災地支援
- ・ 寄贈先 宮古市立図書館
 - ・ 寄贈物 英語電子紙芝居 “The Legends of Mt.Nanashigure”
絵本 「七時雨山伝説」
 - ・ 児童生徒や社会人を対象として平成28年3月以降に貸し出しの予定である。
 - ・ 読後の感想などを当該図書館よりいただき、被災地理解の一助とする。
 - ・ 今後、語り部やALTとともに図書館を訪問し、図書館関係者や市民の方々と交流する機会を持ちたい。
- (2) 外国語活動等
- ・ 5, 6年の外国語活動で聞くことを中心に活用している。また、方言については上級生から下級生に読み聞かせを行っている。
- (3) 地域貢献活動
- ・ 4年生が3月に地域の行事で方言によるスライドショーを行う。
- (4) 社会教育
- ・ 本市の図書館や公共施設に寄贈し、社会教育でも活用していただく。地区のコミュニティセンターでは寄贈したCDを使い、被災地から来訪した宮古市民の方々に昔話を方言で読み聞かせを行い、楽しんでいただいた。

4 成果

- (1) 被災地支援の姿勢
- ・ 児童らは被災地の方々が自分達の制作した電子紙芝居等を視聴することを知り、自分たちなりに被災地のために何かできるということを学んだ。さらに今後もこのような活動をしようとする意欲が見られるようになった。
- (2) 郷土愛の醸成
- ・ 語り部から昔話を聞き電子紙芝居等を制作するという活動を通して、昔話に親しむようになり地域を大切にしようとする気持ちが醸成されつつある。
- (3) 英語への興味関心の高揚
- ・ 外国語活動の学習では児童は自分達で作った昔話が英語のナレーション付きの教材になったことを喜びながら視聴した。そして、英語(話すこと・聞くこと)への興味関心を一段と高めたようである。英語教科化により地域の魅力を自分の言葉で表現する活動が予定されるなかで、本実践はその先行実践となれると思われる。
- (4) 学級集団のまとめ
- ・ 作品制作というグループ活動を通して、学級集団の凝集性が高まった。Q-Uの「友達関係」「学習意欲」が有意に向上した学年が見られた。